

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2013年12月3日 第65号
TEL592-5000 fax 571-4346
803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
URL⇒http://kitaq-kenpou.net/

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

「ストップ！秘密保護法ネットワーク北九州」がマラソン宣伝 シール投票では圧倒的に、「秘密保護法反対」

11月17日、24日の2日間、小倉駅で秘密保護法に反対するマラソン宣伝「STOP！国民の目、耳、口をふさぐ秘密保護法案」が取組まれました。2日間5時間(17日11時～13時、24日11時～14時)の宣伝で、参加はのべ210人、集め



た署名数は400筆、配ったチラシは約3,000枚となりました。同時に行った「秘密法への賛否を問う、シール投票」では、圧倒的に「秘密保護法



反対」の意思表示がされています。

これは、11月12日に、北九州地区労連、新日本婦人の会北九州7支部、国民救援会北九州総支部、民主商工会北九州協議会、日本共産党、福岡県地域人権運動連合会、憲法改悪反対北九州共同センなどの参加団体で、「ストップ！秘密保護法ネットワーク北九州」が結成され、早速の行動が呼び掛けられ、短時間の準備

にもかかわらず、宣伝運動が取り組まれ成功しました。

政府与党は、26日衆議院で強行採決し、審議は参議院に移っていますが今後も廃案目指して、引き続いての行動が取られる予定です。



「キリスト者9条の会・北九州 平和の語り」に参加して

記念講演には、沖縄の牧師平良修氏が 「沖縄という鏡を通じて見える日本国」と題して行った。

11月4日、午後、西南KCC2階講堂で、「語り」が始まった。40名ほどの参加で、お茶やお菓子が机の上におかれ、和やかなムードの中に私も座った。年間の活動報告の後、「9条守りたい」による憲法コトが行われた、20X0年、自民党改憲草案が日本国憲法となり、庶民生活が深刻な状況となったという背景で、庶民の生活をコトで表現している。こんな世にしてはならぬと、思わせる。

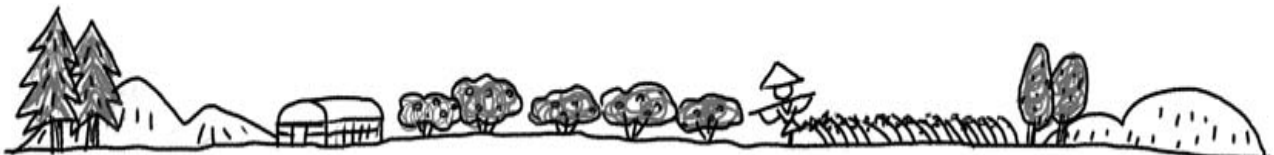
記念講演には、沖縄の牧師平良修氏が「沖縄という鏡を通じて見える日本国」と題して行った。

平良牧師は、沖縄で、「自分を日本人と思いませんか？」の質問で、42%が沖縄人、24%が日本人と答えたこと、西銘元沖縄県知事は「沖縄の心」は？と問われて、「日本人になりたいくて、なりきれない心」と答えた事を紹介し、沖縄の人々の気持をのべた。1000年の歴史・文化をもつ

琉球王国、日本は、「琉球処分」を行ない、この琉球王国を抹殺してきた。第2次の「琉球処分」は、太平洋戦争終了まぎわの、沖縄戦。勝ち目のない日本政府は、沖縄に、民間人を巻き込んだ地上戦を強要、これは唯、本土への攻撃を延ばさせる時間稼ぎのためだ。地上戦で、民間人12万人が死亡した。第3次の「琉球処分」は、1952年の講話条約締結。沖縄だけをアメリカの占領のままにするこの差別は、天皇の申し入れと言われている。そして、米軍基地を残したままでの本土復帰。米軍基地の74%を沖縄に配置したままで今日に至っている。沖縄の軍事基地を無くすには、日米安保条約破棄しかない。

沖縄の人々は、日本国が変わってほしいと願う。沖縄の犠牲で、日本の9条が成り立っている。日本の国が変わらないなら、沖縄が変わるしかない。いま、道州制が論議されているが、沖縄では、国家として独立することも研究が始まっている。

講演を聞いて、いまさらながら、沖縄の人々の怒り・叫びの深刻さを痛感した。「日本が憲法9条で、平和な生活をしているのは、沖縄の犠牲によって成り立つ」という平良牧師のことばが、強く胸をえぐった。そして、「日本が9条を捨てたら、沖縄がそれをとる」とも言われた。私たちの9条の闘いへの真剣さが今後問われていく。そんな思いがよぎる「語り」であった。(9条の会・北九州憲法ネット事務局長・野瀬秀洋)



緊急のカンパのお願い

9条の会・北九州憲法ネット事務局

憲法ネットニュース（機関紙）発送の経費や、講演会経費等で、9条の会・北九州憲法ネット財政が厳しい状況です。改憲の動きが急となり、秘密保護法案の阻止など取り組みが必要な時、この財政では対応できません。恐れ入りますが、緊急の財政カンパをお願いします。

いつも、同封しています「払込取り扱ひ票でのご送金をお願いします。



九条の会、秘密保護法案を批判「9条改正にもつながる」

朝日新聞デジタル 2013年11月16日 19時28分

【川端俊一】憲法を守ろうと訴える有識者や市民らが結成した「九条の会」の全国交流・討論集会が16日、東京都内で開かれ、国会で審議中の特定秘密保護法案に対する批判が相次いだ。

約600人が参加。呼びかけ人で憲法研究者の奥平康弘さんは、1970年代に米国で政府のベトナム戦争の報告書を暴露した報道を例に、「国家の秘密が明らかになっても混乱は何も生じなかった」と指摘。「未来永劫(えいごう)、秘密を国民に明らかにしないようできる法律。9条改正にもつながる深刻なもの」と訴えた。

「密約」などの著書のある作家の沢地久枝さんは、自ら取材した沖縄返還時の日米密約問題に触れながら、「どこからどこまでを秘密にするのか。あまりに無限定で、政府がどんなことも秘密にできる法律は前代未聞だ」と批判した。

「九条の会」は作家の大江健三郎さんらの呼びかけで2004年に発足。全国各地で結成されている。



カンパ有難うございます。そして、お願い。

「9条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。出費多く毎回のニュース発行に四苦八苦しています。ニュースの発行体制維持のため、多くの皆様へ心からの訴えです。カンパを是非お願い致します。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。

振替番号：01700-8-115768 名 義：「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ 9 月 村上憲子 河村智重子 近藤伊津子 野瀬秀洋 松濤秀道 末安良光 玉井史太郎 尾鶴真 渡辺末子 弁護士後藤景子 佐多道人 高野和夫 江島康弘 樋口コスエ 野瀬秀洋 稲津克子 稲津征雄 10 月 豊福直美 三崎英二 安藤昭雄 一ノ瀬和世 小沢和秋 中川紘子 川原巍誠 木村玲子 小泉孝 11 月 戸上省二 戸上栄子 荒牧啓一 小野恂一郎 小野文子 佐多道人 [メッセージ](#) ●99パーセントのあらずで1パーセントにへつらふ人らが「改憲」支ふ、9/25 T. F ●カンパとして 10/4 M. E

【声明】

憲法の諸原則と民主主義に反する「秘密保護法」採決強行に抗議し、 廃案を求めます

2013年11月27日

憲法改悪阻止各界連絡会議(憲法会議)

〒101-0051 千代田区神田神保町2-10 神保町マンション202

Tel.03-3261-9007 fax03-3261-5453

1. 憲法の諸原則に反する内容、議会制民主主義を無視する安倍政権の意図そのままに、衆議院特別委員会と本会議での11月26日の「特定秘密保護法」の強行採決に、満腔の怒りと必ず廃案に追い込む決意を表明します。

2. 短期間の審議の中でも、私たちが警告してきたように、「特定秘密」の指定が無限定に拡大されること、国民には何が秘密かも秘密にされること、一般国民が監視と処罰の対象にされること、国権の最高機関としての国会の地位を否定するものであることなどなどが明らかになりました。これらは暴走を続ける安倍政権が次にねらっている「国家安全保障基本法」と結びつき、アメリカといっしょになって海外で武力行使をする集団的自衛権の行使を可能にし、日本を「戦争する国」に変えるものであることがますます鮮明になりました。

憲法の原則である国民主権、平和主義、基本的人権を根本から破壊する悪法にほかなりません。

3. 世論調査で7~8割が「慎重審議」を求め、国民各層・分野からの「反対」「懸念」の表明が相次ぎ、自民党の中からも異論がだされています。11月21日の日比谷野外音楽堂と国会には市民1万人以上がつめかけ、反対の声をあげるなど、運動と「反対」「慎重に」の世論は極めて早い速度と規模でひろがっています。25日の福島市での地方公聴会では、7人の公述人全員が「反対」「異議」「懸念」を表明する異例の事態となりました。石原慎太郎氏をして「安保のような状況」と言わしめています。

にもかかわらず、与党とみんなの党が強行採決に及んだことは、国民の声に完全に背く、力づくの蛮行として絶対に許せません。

4. 秘密保護法反対のたたかいは参議院に移ります。

憲法会議は、国民的な共同の運動と世論をさらにひろげ、安倍政権と国会を包囲し、廃案に追い込み、この法案の企図そのものを断念させるために全力をあげます。